

敵討鞍天狗

13  
1571



之々々  
天人物  
作是書  
馬尾店法經通



遠  
1571



金屋

はな

梅

杏

あまのこころ  
うつくしき  
あはれなる  
なるかな  
いづれに  
あまのこころ  
うつくしき  
あはれなる  
なるかな  
いづれに  
あまのこころ  
うつくしき  
あはれなる  
なるかな  
いづれに

あまのこころ  
うつくしき  
あはれなる  
なるかな  
いづれに  
あまのこころ  
うつくしき  
あはれなる  
なるかな  
いづれに

へ13  
1571





きりぎりす

おのれはきやうのちの

うらたけのうらたけ

きりぎりす



おのれはきやうのちの  
うらたけのうらたけ  
きりぎりす

おのれはきやうのちの  
うらたけのうらたけ  
きりぎりす

きりぎりす  
おのれはきやうのちの  
うらたけのうらたけ



あふらん  
 ちんじん、こもりて、  
 せんじふ、よのあつれて、  
 ちんじん、こもりて、

ちんじん、こもりて、  
 せんじふ、よのあつれて、  
 ちんじん、こもりて、  
 せんじふ、よのあつれて、  
 ちんじん、こもりて、  
 せんじふ、よのあつれて、



ちんじん、こもりて、  
 せんじふ、よのあつれて、  
 ちんじん、こもりて、  
 せんじふ、よのあつれて、  
 ちんじん、こもりて、  
 せんじふ、よのあつれて、

あまのつむぎ



あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ

あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ

あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ



あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ



あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ

あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ

あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ

あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ  
あまのつむぎ



あまのりしへ  
おんくろくろく  
あまのりしへ  
あまのりしへ

くくおのりしへ  
くくおのりしへ  
くくおのりしへ  
くくおのりしへ

おのりしへ

おのりしへ

おのりしへ



おのりしへ

おのりしへ

おのりしへ

おのりしへ

おのりしへ









松の林の中

松の林の中

と云ふ  
はなはた  
さうぞう  
と云ふ

はなはた  
さうぞう  
と云ふ  
はなはた  
さうぞう  
と云ふ

あつちのうしろ  
松の林の中  
と云ふ  
はなはた  
さうぞう  
と云ふ

あつちの  
松の林の中  
と云ふ  
はなはた  
さうぞう  
と云ふ







ととろかぬいへ入こ共と  
切ひち

松の  
女  
松井が  
ととろへ  
まうひるた  
ととろへ  
ととろへ  
ととろへ

松の  
女  
松井が  
ととろへ  
まうひるた  
ととろへ  
ととろへ  
ととろへ

あつかりのあつかり

あつかりのあつかり

あつかりのあつかり



あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり

あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり

あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり

あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり

あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり  
あつかりのあつかり

あつかりのあつかり

鳥



ひき  
ぐ  
えん  
く  
ひき  
ぐ

鳥



萬屋



松の  
おれ  
ひき  
ぐ  
えん  
く  
ひき  
ぐ







友の新版目録

天竺異國遊 三冊

敵討騷天狗 三冊

噺言七福神親方 三冊

曲輪雀大通先生 二冊

怪談豆人形 二冊

球嚙雉御山 三冊

作者 吳増左 文溪堂

ほろおすや  
おねのま  
ねねとふか  
おねとふか  
ふかあつて

おののいと  
つぎたのふかひ  
おののいと  
おののいと  
おののいと



作者 文溪堂

鳥居清經画



